

受 検 番 号	氏 名

1 建二

(臨時)

令和7年度

# 1 級建築施工管理技術検定

第二次検定（臨時）問題

令和8年1月25日（日）

## 〔注 意 事 項〕

- ページ数は、表紙を入れて17ページです。
- 試験時間は、13時から16時です。
- 解答用紙は、別紙になっています。
- 試験問題は、6問題です。
- 問題1から問題4は、記述式です。  
解答は、解答用紙の定められた範囲内に、〔HB〕の黒鉛筆か黒シャープペンシルで記入してください。
- 問題5及び問題6は、五肢択一式です。正解と思う肢の番号を1つ選んでください。  
解答の記入に当たっては、次によってください。  
イ. 解答は、選んだ番号を右のマークの塗りつぶし例に従って、〔HB〕の黒鉛筆か黒シャープペンシルで塗りつぶしてください。ボールペン、サインペン、色鉛筆等では採点されません。  
ロ. マークを訂正する場合は、消しゴムできれいに消して訂正してください。
- 解答用紙は、雑書きしたり、汚したり、折り曲げたりしないでください。
- この問題用紙は、計算等に使用しても差し支えありません。
- 漢字に付したふりがなは補足であり、異なる読み方の場合があります。
- この問題用紙は、試験終了時刻まで在席した場合に限り、持ち帰りを認めます。  
途中退席する場合は、持ち帰りできません。

マークの塗りつぶし例





問題1

建設現場における今日の施工者は、建築物の品質管理はもちろんのこと、工程、安全、コスト、環境等の多岐にわたる施工管理が求められている。

今日までの経験を踏まえ、建築工事の現場を管理していくうえでのあなたの考えについて、次の

1. 及び 2. の問いに答えなさい。

なお、建築工事には、建築設備工事は含まれないものとする。

1. 4 ページから 5 ページの工事概要に示す店舗ビルの新築工事において、統括的な施工の技術上の管理を求められる立場として、建築工事における品質管理に関するあなたの考えを2つ提案し、それぞれ次の①から③について具体的に記述しなさい。

ただし、2つの提案において、①の品質の目標は同じ内容を記述してもよいが、①の品質管理項目、②及び③はすべて異なる内容を記述するものとし、③の確認方法は、②の工事や作業の施工中又は工事や作業の完了後のどちらに実施するものでもよいものとするが、②の工事や作業の着手前のものは除く。

なお、工事概要に示す工事において、各作業は一般的な手順に従って施工されるものとし、施工上必要としない工事及び作業に関する内容についての記述は不可とする。

また、設計図書及び使用資機材に不備はないものとする。

- ① あなたが定めるべきと考える完成した建築物における品質の目標と、その目標達成のために重点をおくべきと考える品質管理項目
- ② ①の管理項目において品質の低下を懸念する工事や作業と懸念する理由
- ③ ①の管理項目の品質が確保されていることを確かめるための確認方法

2. 4 ページから 5 ページに示す工事概要の建築工事に係わらず、建設現場において施工管理を求められる立場として、次の①及び②について、あなたの考えを具体的に記述しなさい。

ただし、建築工事に関する内容の記述とし、1. と同じ内容の記述は不可とする。

- ① 労働者の作業環境又は現場近隣の周辺環境への配慮が必要と考える現場作業と、その作業による影響
- ② ①の影響を抑えるために有効と考える現場作業を行ううえでの対応策

工事概要

(表 中「○+△+□」は、○下地のうえ△面に□仕上げ等、下地と表 面仕上げの関係を示す。)

(E P：合成樹脂エマルジョンペイント、E P-G：つや有合成樹脂エマルジョンペイント、

SOP：合成樹脂 調 合ペイント)

こうじめい 工 事 名	てんば しんちくこうじ 店舗ビル新築工事		
しゅようこうぞう 主要構造	てつこつこうぞう ちじょう かいだ 鉄骨構造 地上 3階建て	こうき 工 期	ねん がつ 2026年4月から 2026年11月
しゅようよう 主要用途	てんば 店舗	エレベーター	じん か よう せきさいりょう 人荷用 積載量 1,000 kg 1台
よう と ちいき 用途地域	しょうぎょうちいき しがいち どうろりんせつ 商 業 地域 市街地 15m道路隣接		せつち ぼしよ 設置場所：バックヤード
めん せき 面 積	しき ち めんせき 敷地面積 800.0m <sup>2</sup>	エスカレーター	きやくよう はば のぼ くだ かく き 客 用 幅800mm 上り下り各1基
	けんちくめんせき 建築面積 350.0m <sup>2</sup>		せつち ぼしよ 設置場所：エントランスロビー
のべゆかめんせき 延床面積 1,050.0m <sup>2</sup>		ちゅう しゃ じょう 駐 車 場	ふつうしゃよう だい 普通車用 18台
さいこうたか 最高高さ	11.6m		くるまい すしやうしゃよう だい 車 椅子使用者用 2台
かい だか 階 高	かい 1階：4.0m, 2,3階：3.5m	そ の 他	おくじょうせつび き そ 屋 上 設備基礎
おも こうぞう しやう 主な構造仕様			
ね ぎりふか 根切深さ	せつけい 設計G L－1.5m	こうぞう ぶ ざい 構造部材	はしら かくがたこうかん はり がたこう 柱：角形鋼管，梁：H形鋼
ち か すい 地下水位	せつけい 設計G L－4.0m		ゆか ごうせい 床：合成デッキスラブ
やま ど 山 留 め	なし	はしら き そ 柱 基 礎	ろ しゅつけいしきちゅうきやく 露 出 形式 柱 脚
ね ぎ 根 切 り	そう ぼ オープンカット総掘り		こてい アンカーボルト固定
き そ 基 礎	たいあつばん き そ そう 耐圧版べた基礎による総ピット	せつ ごう 接 合	こうりやく せつごう ようせつせつごう 高 力 ボルト接合，溶接接合
		たい か ひ ふく 耐火被覆	はんしっしき ふきつけこうほう 半湿式ロックウール吹付工法
おも がいぶ し あ 主な外部仕上げ			
ろく や ね 陸 屋 根	ほ ご だんねつぼうすい アスファルト保護断熱防水 げん ば う 現場打ちコンクリート製パラペット てん ば せい か さ き ＋天端アルミ製笠木	がい へき 外 壁	A L Cパネル ぼうすいがたふくそう し あげぬりざいふきつ ＋防水形複層仕上塗材吹付け げん ば はつぼうだんねつざいふきつ 現場発泡断熱材吹付けによる うちだんねつこうほう 内断熱工法
たて ぐ 建 具	かい 1階 エントランス：ステンレス製両開き自動扉，強化ガラス＋飛散防止フィルム共 てん ぼ しょう めん 店 舗 正 面：アルミ製フロントサッシ，両開き自動扉， きょう か ひ さんぼう し とも 強化ガラス＋飛散防止フィルム共 じ む せい あみ い た とも 事務スペース：アルミ製サッシ，網入り板ガラス共 鋼製扉＋SOP塗装 かい 2,3階 まど せい ふくそう とも 窓：アルミ製サッシ，L o w - E複層ガラス共		
おも がいこう しやう 主な外構仕様			
ちゅう しゃ じょう 駐 車 場	ほ しょう アスファルト舗装 くるま ど はくせん び 車 止め，白線引き	しよく さい 植 栽	しき ち ない いち ぶ ちゅうぼく ていぼくこんさい 敷地内の一部：中木，低木混栽

おも ないぶ し あ 主な内部仕上げ					
かくしつ かべおよ てんじょう けいりょうてつごつした じ ・各室の壁及び天井は、軽 量 鉄骨下地とする。 てんじょうたか かい かい きょうようぶ せんゆうぶ きょうつう ・天井高さは、1階 3.1m, 2,3階 2.5mとする。（共用部, 専有部 共通） きょうようぶ かい せんゆうぶ どうしやう きやくよう けしやうしつ もう ・共用部2階には、専有部と同仕様の客用化粧室を設ける。					
きょうようぶ 共用部					
エントランスロビー	ゆか 床	かい 1階 ：モルタル下地 おおぼん じ きしつ +大判磁器質タイル	階段室	ゆかおよ 床及び ふみづら け こみ 踏面蹴込	モルタル下地+タイルカーペット だんばな 段鼻ノンスリップ
		かい 2,3階 ：セルフレベリング材 +タイルカーペット		かべ 壁	せっこうボード+EP塗装
	かべ 壁	パーティクルボード +メラミン化粧板		てん じょう 天井	せっこうボード+EP塗装
	てん じょう 天井	アルミサイディングパネル		だん うら 段裏	てつこつあらわ 鉄骨現し+EP-G塗装
	その他	エスカレーター回り ステンレス製強化ガラス手すり ぼうえんたれかべ 防煙垂壁	間仕切り	その他	じりつしきて かべつきて 自立式手すり, 壁付手すり てつぶ と そう 鉄部SOP塗装
たて 建	ぐ 具	こうせいぼう か とびら と そう ぼう か と そう 鋼製防火扉 + SOP塗装, 防火シャッター+SOP塗装			
せんゆうぶ 専有部					
店舗	ゆか 床	かんしき に じゅうゆか 乾式二重床+タイルカーペット	給湯室／化粧室	ゆか 床	モルタル下地+ビニル床シート
	かべ 壁	パーティクルボード +メラミン化粧板		かべ 壁	シーシングせっこうボード +ビニルクロス
	てん じょう 天井	アルミサイディングパネル		てん じょう 天井	せっこうボード +ロックウール化粧 吸音板
バックヤード	ゆか 床	モルタル下地+ビニル床タイル		その他	きゅうとうしつ 給湯室：ミニキッチン, 吊戸棚 けしやうしつ 化粧室：トイレブース
	かべ 壁	せっこうボード+EP塗装			て あら 手洗いカウンター けしやうかがみ 化粧鏡
	てん じょう 天井	せっこうボード+EP塗装			
事務スペース	ゆか 床	かんしき に じゅうゆか 乾式二重床+タイルカーペット	間仕切り	てん ぽ 店舗	かんしきたい か しやおん ま じ きり 乾式耐火遮音間仕切
	かべ 壁	せっこうボード+EP塗装		みずまわ 水回り	かんしきしやおん ま じ きり 乾式遮音間仕切
	てん じょう 天井	せっこうボード +ロックウール化粧 吸音板			
たて 建	ぐ 具	かい てん ぽ 2,3階 店舗 ：ステンレス製ガラスサッシ, 両開き自動扉, きょう か ひ さんぼう し と も 強化ガラス+飛散防止フィルム共 じ む 事務スペース ：鋼製親子開き扉 + SOP塗装			

問題2

建築工事における次の1. から3. の仮設物の設置を計画するに当たり、検討すべき事項及びその理由を、それぞれ2つ具体的に記述しなさい。

ただし、1. から3. の解答はすべて異なる内容の記述とし、申請手続、届出及び仮設物設置後の運用管理に関する記述は除くものとする。

また、使用資機材に不良品はないものとする。

1. 工事ゲート（車両出入口）

2. 沈砂槽又は沈殿槽

3. ロングスパンエレベーター



問題3

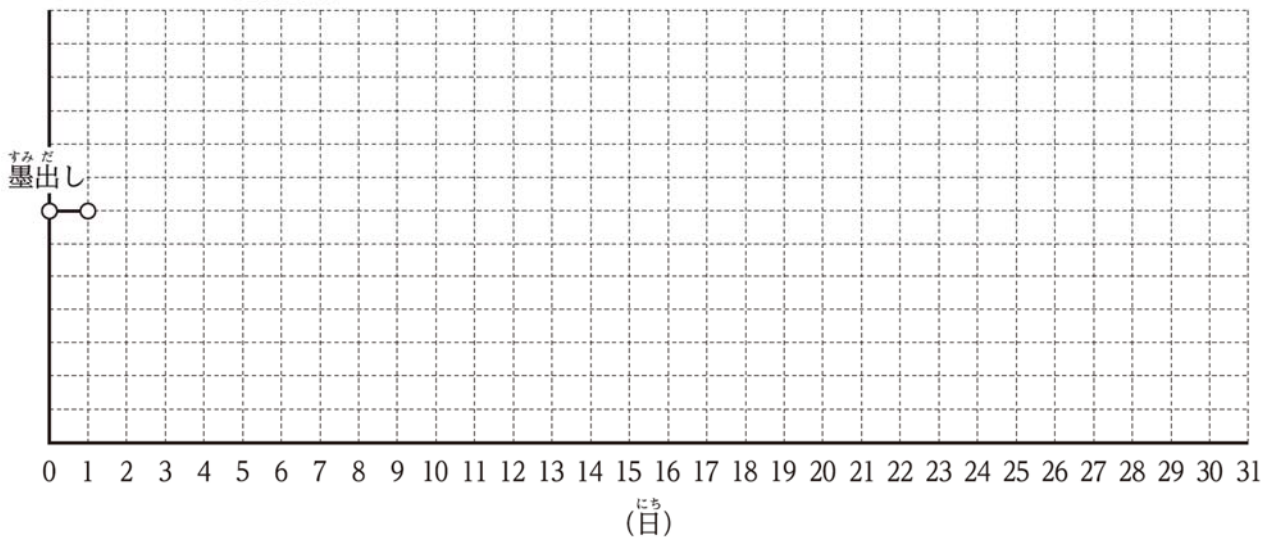
鉄筋コンクリート構造の事務所ビル新築工事における基準階の躯体工事について、右の工事概要、工程表及び作業と施工条件を読み取り、次の1.から4.の問いに答えなさい。

工程表は計画時点におけるもので、作業④及び作業⑥については作業内容を記載していない。

なお、躯体工事における建築工事と設備工事は、一般的な手順に従って施工されるものとし、施工中に必要な試験や検査については記載を省略している。

- 作業④及び作業⑥の作業内容を記述しなさい。
- 工程表及び作業と施工条件から、(始)から(終)までの総所要日数を記入しなさい。
- 作業④及び作業⑥のトータルフロートを記入しなさい。
- 作業員の不足から、作業③柱、壁の型枠建込みの所要日数が5日間必要になった。なお、作業④及び作業⑥は当初の工程通りの着手日、所要日数で施工でき、作業⑤以降はすべて当初の所要日数で施工できた。  
この時の(始)から(終)までの総所要日数を記入しなさい。

ネットワーク工程検討用

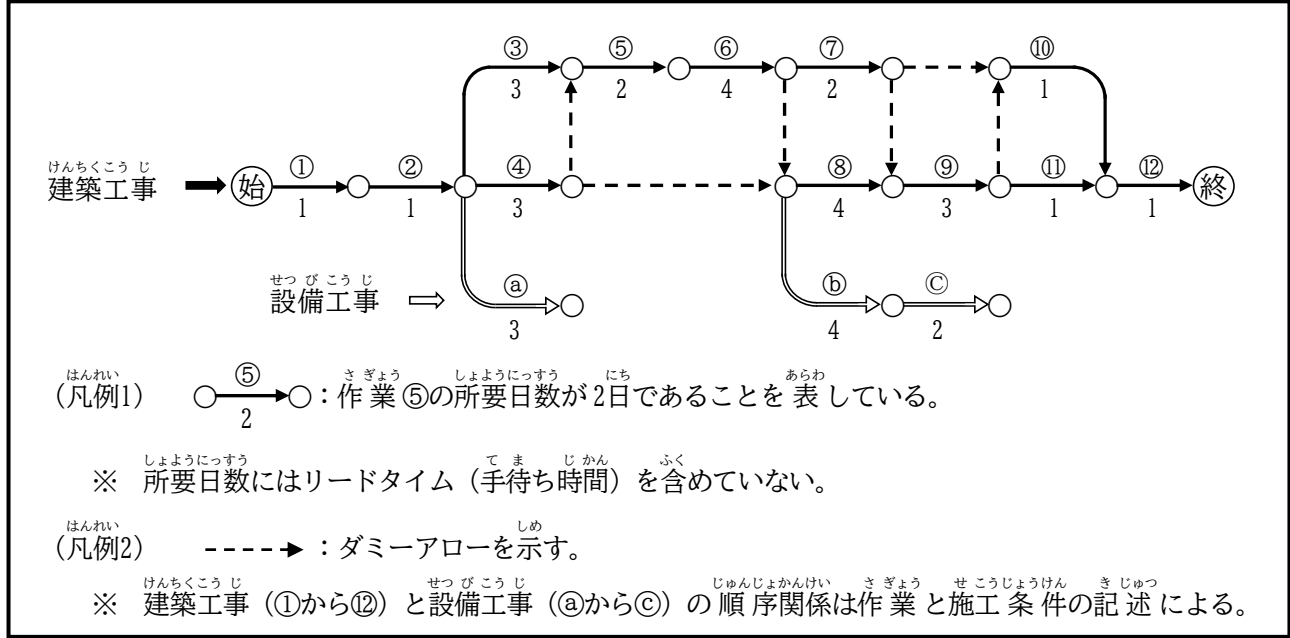


工事概要

用途：事務所

構造，規模：鉄筋コンクリート構造 地上6階建て，基準階の床面積 480.0m<sup>2</sup>

工程表



作業と施工条件（所要日数には各作業に必要な資機材運搬等を含む）

	きぎょう 作業	きぎょう 作業内容	しやう 所要 日数	せこうじょうけん 施工条件
けんちくこうじ 建築工事	①	すみだ 墨出し	1日	
	②	はしらはいきん あっせつとも 柱配筋（圧接共）	1日	
	③	はしら かべ かたわくたてこ 柱，壁の型枠建込み	3日	
	④		3日	きぎょう かべ はいかん とりつ かんりよう にちまえ かんりよう 作業a壁の配管，スリーブ取付け完了の1日前に完了
	⑤	はしら かべ かたわくかえ 柱，壁の型枠返し	2日	きぎょう かべ はいかん とりつ かんりよう ちやくしゆ 作業a壁の配管，スリーブ取付け完了後に着手
	⑥		4日	
	⑦	てんじよう かたわくしめかた 天井 インサート，型枠締固め	2日	
	⑧	はりはいきん あっせつとも 梁配筋（圧接共）	4日	
	⑨	はいきん かいだん ふく スラブ配筋（階段を含む）	3日	
	⑩	かいだんふさ だんき かたわく 階段塞ぎ，段差型枠	1日	
	⑪	さしきん 差筋	1日	
	⑫	うちこ コンクリート打込み	1日	きぎょう はいかん とりつ かんりよう ちやくしゆ 作業cスラブ配管，スリーブ取付け完了後に着手
せつびこうじ 設備工事	a	かべ はいかん とりつ 壁の配管，スリーブ取付け	3日	きぎょう はしらはいきんかんりよう にちご ちやくしゆ 作業②柱配筋完了1日後に着手
	b	てんじよう はり とりつ 天井 インサート，梁スリーブ取付け	4日	
	c	はいかん とりつ スラブ配管，スリーブ取付け	2日	きぎょう はいきんかいし にちご ちやくしゆ 作業⑨スラブ配筋開始2日後に着手

もんだい  
問題4

つぎ 1. から 4. の問いに答えなさい。

ただし、1. から 4. の解答はすべて異なる内容の記述とし、気象条件による作業の中止、試験及び検査に関する記述は除くものとする。

1. 場所打ちコンクリート杭地業のアースドリル工法において、掘削についての施工上の留意事項を2つ、具体的に記述しなさい。

なお、スライム処理及び安定液に関する記述は除くものとする。

2. コンクリート工事の打込み時において、豆板又は充填不良の発生を防止するための施工上の留意事項を2つ、具体的に記述しなさい。

3. 鉄骨工事の現場溶接において、溶接不良の発生を防止するための施工上の留意事項を2つ、具体的に記述しなさい。

4. 土工事の地下水処理の釜場工法において、施工上の留意事項を2つ、具体的に記述しなさい。



問題5

次の1. から8. の各記述において、 に当てはまる最も適切な語句又は数値の組合せを、下の枠内から1つ選びなさい。

1. 改質アスファルトシート防水の常温粘着工法において、断熱露出仕様の場合、立上り際  
 による  a  圧は平場の一般部より大きくなるため、断熱材の上が絶縁工法となる立上り際  
 平場部の幅  b  mm程度は、防水層の  c  層目に粘着層付改質アスファルトシートを張  
 り付ける。

	a	b	c
①	正	300	2
②	負	500	2
③	負	500	1
④	負	300	1
⑤	正	300	1

2. 改良圧着張り工法において、タイルを壁の下地モルタル面に張り付ける場合、下地に適  
 水湿しを行い、張付けモルタルの下地面に対する塗付けは  a  層塗り  
 で、一度に張り付ける面積は  b  m<sup>2</sup>以下とする。

タイル裏面全体に張付けモルタルを  c  の塗厚で平らに均し、直ちに下地面に張り付け、  
 入念にたたき押えを行う。

	a	b	c
①	1	2	1mmから3mm
②	2	2	4mmから6mm
③	2	3	1mmから3mm
④	2	2	1mmから3mm
⑤	1	3	4mmから6mm

3. 金属製折板葺きにおいて、タイトフレームの受梁への接合は、下底の両側を隅肉溶接とし、隅肉溶接のサイズを  の板厚と同じとする。
- 重ね形折板の端部の端あき寸法は、  mm以上とする。
- 軒先の落とし口は、折板の底幅より小さく穿孔し、テーパ付きポンチで押し広げ、  mmの尾垂れを付ける。

	a	b	c
①	タイトフレーム	50	3
②	タイトフレーム	50	5
③	受梁	30	3
④	受梁	50	5
⑤	受梁	30	5

4. ステンレス製建具におけるステンレス鋼板の加工には、普通曲げと角出し曲げがある。
- 角出し曲げ加工ができる板厚は、  mm以上であり、一般的に、角出し曲げ加工の種類は、切込み後の残り板厚寸法が0.5mm、0.75mm及び1mmの3種類がある。
- 角出し曲げで、切込み後の残り板厚寸法が  mm以下の場合は裏板にて補強し、  mmの場合は補強不要である。

	a	b	c
①	1.2	0.5	0.75
②	1.5	0.5	0.75
③	1.2	0.75	1
④	1.2	0.5	1
⑤	1.5	0.75	1

5. PCカーテンウォールの  方式<sup>ほうしき</sup>には、ロッキング方式<sup>ほうしき</sup>、スウェイ方式<sup>ほうしき</sup>がある。

ロッキング方式<sup>ほうしき</sup>はPCパネルを回転<sup>かいてん</sup>させることにより、また、スウェイ方式<sup>ほうしき</sup>は上部<sup>じょうぶ</sup>、下部ファスナー<sup>かぶ</sup>の  をルーズホール<sup>とうすべ</sup>等で滑<sup>なめ</sup>らせることにより、PCパネルを  変位<sup>へんい</sup>に追従<sup>ついじゅう</sup>させるものである。

	a	b	c
①	ジョイント	どちらか	層 <sup>そう</sup> 間 <sup>かん</sup>
②	ファスナー	どちらか	層 <sup>そう</sup> 間 <sup>かん</sup>
③	ジョイント	両 <sup>りょう</sup> 方 <sup>ほう</sup>	垂 <sup>すい</sup> 直 <sup>ちよく</sup>
④	ファスナー	どちらか	垂 <sup>すい</sup> 直 <sup>ちよく</sup>
⑤	ファスナー	両 <sup>りょう</sup> 方 <sup>ほう</sup>	垂 <sup>すい</sup> 直 <sup>ちよく</sup>

6. アクリル樹脂系<sup>じゆしけい</sup>非水分散形<sup>ひすいぶんさんけい</sup>塗料<sup>とりょう</sup>は、有機溶剤<sup>ゆうきようざい</sup>を媒体<sup>ばいたい</sup>として樹脂<sup>じゆし</sup>を分散<sup>ぶんさん</sup>させた非水分散形<sup>ひすいぶんさんけい</sup>

で、常<sup>じょう</sup>温<sup>おん</sup>で比較<sup>ひかく</sup>的<sup>てき</sup>短時間<sup>たんじかん</sup>で硬化<sup>こうか</sup>し、耐水性<sup>たいすいせい</sup>や  に優れた塗膜<sup>とまく</sup>が得<sup>え</sup>られる。

コンクリート面<sup>めん</sup>の塗料<sup>とりょう</sup>塗<sup>ぬ</sup>りにおいて、下塗<sup>したぬ</sup>り、中塗<sup>なかぬ</sup>り、上塗<sup>うわぬ</sup>りともに同一材料<sup>どういつざいりょう</sup>を使用<sup>し</sup>し、塗<sup>ぬり</sup>付け量<sup>りょう</sup>はそれぞれ  kg/m<sup>2</sup>とする。

	a	b	c
①	ワニス	耐 <sup>たい</sup> アルカリ性 <sup>せい</sup>	0.1
②	エマルション	耐 <sup>たい</sup> 酸性 <sup>さんせい</sup>	0.5
③	エマルション	耐 <sup>たい</sup> アルカリ性 <sup>せい</sup>	0.1
④	ワニス	耐 <sup>たい</sup> アルカリ性 <sup>せい</sup>	0.5
⑤	ワニス	耐 <sup>たい</sup> 酸性 <sup>さんせい</sup>	0.1

7. カーペット敷きのグリッパー工法において、グリッパーを釘打ちによって固定する場合、釘の間隔は  cm程度とする。

グリッパーは、壁際からの隙間を、張り付けるカーペットの厚さの約  $\frac{\text{b}}{3}$  とし、均等に打ち付ける。

下敷き用フェルトは、敷込みに当たっては、隙間等のないように突き付けて敷き込み、フェルトの端部はグリッパーに  ようにする。

	a	b	c
①	15	1	かさ重ねる
②	15	2	かさ重ねる
③	30	1	かさ重ねる
④	15	2	かさ重ねない
⑤	30	2	かさ重ねない

8. コンクリート打放し仕上げ外壁のひび割れ部の改修における樹脂注入工法は、外壁のひび割れ幅が0.2mm以上  mm以下の場合に主に適用され、シール工法やUカットシール材充填工法に比べ耐久性が期待できる工法である。

挙動のあるひび割れ部の注入に用いるエポキシ樹脂の種類は、 形とし、一般に0.5mm未満のひび割れの粘性による区分は、 形とする。

	a	b	c
①	2	硬質	低粘度
②	2	軟質	低粘度
③	2	硬質	高粘度
④	1	軟質	高粘度
⑤	1	軟質	低粘度

問題6

次の1. から3. の各法文において、 に当てはまる正しい語句又は数値を、下の該当する枠内から1つ選びなさい。

1. 建設業法（下請負人の意見の聴取）

第24条の2 元請負人は、その請け負った建設工事を施工するために必要な  ① の細目、  
 ② その他元請負人において定めるべき事項を定めようとするときは、あらかじめ、下請  
 負人の意見をきかなければならない。

①	① 安全	② 環境対策	③ 工程	④ 品質	⑤ 予算
---	------	--------	------	------	------

②	① 仮設計画	② 施工方法	③ 品質基準	④ 使用機材	⑤ 作業方法
---	--------	--------	--------	--------	--------

2. 建築基準法施行令（仮囲い）

第136条の2の20 木造の建築物で高さが13メートル若しくは軒の高さが9メートルを超える  
 もの又は木造以外の建築物で  ③ 以上の階数を有するものについて、建築、修繕、模  
 様替又は除却のための工事（以下この章において「建築工事等」という。）を行う場合に  
 おいては、工事期間中工事現場の周囲にその地盤面（その地盤面が工事現場の周辺地盤面  
 より低い場合においては、工事現場の周辺の地盤面）からの高さが  ④ メートル以上の  
 板塀その他これに類する仮囲いを設けなければならない。ただし、これらと同等以上の効力  
 を有する他の囲いがある場合又は工事現場の周辺若しくは工事の状況により危害防止上  
 支障がない場合においては、この限りでない。

③	① 2	② 3	③ 4	④ 5	⑤ 6
---	-----	-----	-----	-----	-----

④	① 1	② 1.3	③ 1.5	④ 1.8	⑤ 2
---	-----	-------	-------	-------	-----

3. 労働安全衛生法 (元方事業者の講ずべき措置等)

第29条の2 建設業に属する事業の元方事業者は、土砂等が崩壊するおそれのある場所、  
 ⑤ 等が転倒するおそれのある場所その他の厚生労働省令で定める場所において関係請負  
 人の労働者が当該事業の仕事の作業を行うときは、当該関係請負人が講ずべき当該場所  
 に係る危険を防止するための措置が適正に講ぜられるように、⑥ その他の必要な措置を講  
 じなければならない。

⑤	① 足場	② 機械	③ 機器	④ 仮囲い	⑤ 資材
---	------	------	------	-------	------

⑥	① 安全の確保	② 安全教育	③ 技術上の指導
	④ 危険予知訓練	⑤ 作業の指示	